

より多くの情報を伝えたい —パソコンノートテイクの基本 システム（連係入力）—

こんなときどうしたら？

聴覚障害学生支援の方法の1つとして、パソコンノートテイクを導入する大学が増えつつあります。大学でも日常的にレポートの作成や授業連絡の方法にパソコンが用いられるようになるなど、より身近なものになりました。そのため、支援学生のパソコン入力スキルが向上し、パソコンを用いた支援に関心を持つ方も増えてきていることも背景にあります。

せっかく連係入力用ソフトウェア（以下、IPtalk）を使用しているのに、「ネットワークの設定がよく分からなくて…」「1回トライしたけれど、うまく繋がらなかったから…」「休憩時間に準備が終わらない…」などの理由から、ソフトウェアの特徴である連係入力の導入を断念し、一人入力を続けているという声を聞くことがあります。

例えば、以下のような場面では連係入力を導入したいと思いませんか？

- 話速の早い先生の授業やゼミの発表などで、一人入力では対応が難しいとき
- 支援経験の浅い学生を一人で担当させるのは難しいとき
- 聴覚障害学生からもっと情報量を増やして欲しい、と依頼されたとき



連係入力を導入すれば、こんな方法を取ることもできます。

- 2～3人の入力者で字幕の作成を進められるので、一人にかかる負担を軽減することができます
- ベテランの支援学生と支援経験の浅い学生と一緒に入力することで、スキル向上に繋がります

手順を覚えてしまえば連係入力の準備を整えるのは簡単です。ここでは、2名での連係入力用パソコン＋表示用パソコン1台の必要機材、およびその設定・接続方法について説明します。

使用する機器

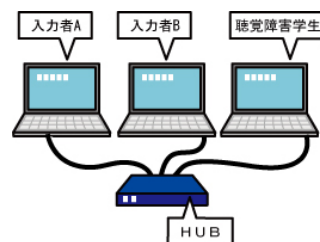
連係入力の導入に必要な機材は、以下の通りです。ここでは、連係入力者2名が使う入力用パソコン2台、聴覚障害学生に呈示する表示用パソコン1台の設定で説明を進めていきますが、機材が増えても基本的な設定は変わりません。

【使用機材】

- ノートパソコン・電源コード 3組
- ストレートLAN ケーブル（以下、LAN ケーブル） 3本
- OA タップ（4口以上） 1本
- スイッチング HUB（以下、HUB）（3口以上） 1組

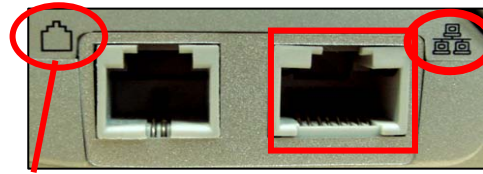
【必要なソフトウェア】

- IPtalk（フリーウェアです。こちらのサイトよりダウンロードできます。 http://www.geocities.jp/shigeaki_kurita/）
* IPtalk は使用するパソコンすべてにインストールしてください。新しい機能が追加されたバージョンが頻繁に公開されますが、使用するパソコンが同じバージョンで揃っていれば動作に問題はありません。



機材の接続

- ①パソコンとHUBの電源コードをOAタップに差し込みます。
- ②LANケーブルの一端をパソコンのネットワークモジュール(右写真参照)に入れます。もう片方はHUBのLANケーブル差し込み口に入れます。使用するパソコン3台共、同時に接続をしましょう。
- ③HUB・LANケーブルの接続が終わってから、パソコンの電源を入れます。
- ④LANケーブルでパソコン同士を繋いでいないか、しっかりとLANケーブルが差し込まれているかを確認しましょう。パソコンの電源を入れた後、LANケーブルを差したHUBのランプが光っているかを確認します。



このマークがLANケーブルの差し込み口を示します。カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

こちらは電話線の差し込み口です。LANケーブルより一回り小さい形をしています。形状が似ているので、間違えないように気をつけましょう。



パソコンの設定

<ネットワークの設定>

パソコンとHUBを接続したら、次はLAN接続のためにIPアドレスの設定をします。IPアドレスは、パソコンに割り振られる電話番号のようなもので、パソコン同士を識別するために使われます。本稿ではWindows7でのIPアドレスの設定方法を説明しますが、他のバージョンでも手順に大きな差はありません。Windows XP、Windows Vistaでの設定方法は、冊子「パソコンノートテイク導入支援ガイド やってみよう! パソコンノートテイク」を参照して下さい。

① 「スタート」—「コントロールパネル」—「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします(図1)。



図1 コントロールパネル画面

② 「ネットワークと共有センター」が開きます。赤枠で示した「ローカルエリア接続」をクリックし、「ローカルエリア接続の状態」を開きます(図2)。



図2 ネットワークと共有センター画面

③ 「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」の画面を開きます(図3)。

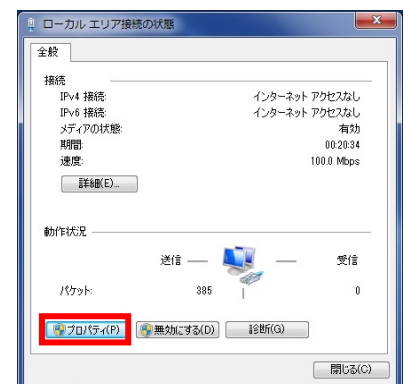


図3 ローカルエリア接続の状態画面

④ 中段のリストから「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」をクリックし、「プロパティ」をクリックして選択します(図4)。

⑤ 「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れ、「IPアドレス」「サブネットマスク」をそれぞれ入力し、OKをクリックします(図5)。

ここで入力したIPアドレスはIPtalkの設定に必要ですので、番号を覚えておきましょう。パソコンノートテイク以外にもこのパソコンを使用する場合には、もとの設定に戻しましょう。

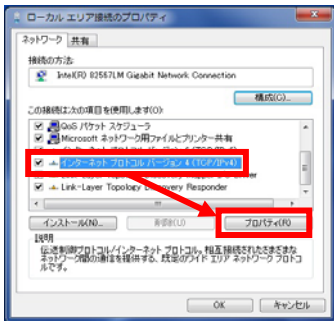


図4 ローカルエリア接続のプロパティ画面

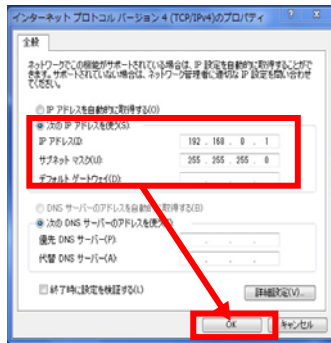


図5 インターネット プロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ画面

IP アドレス設定のポイントは？

関係入力で使用使用するパソコンのIPアドレスで一般的によく用いられるのは、クラスCと呼ばれる下記の設定です。
 IPアドレス: 192.168.0.0~192.168.255.255
 サブネットマスク: 255.255.255.0
 このうちIPアドレスは、サブネットマスクが255になっている桁までをすべてのパソコンでそろえ、最後の桁は0~255のうち重複しない任意の数字を各パソコンに割り当てます。

<IPtalk の設定>

IP アドレスの設定が終わったら、IPtalk の通信設定をしましょう。

- ① IPtalk のアイコンをダブルクリックし、IPtalk を起動します。
- ② パートナー Tab をクリックし、自分のパソコンの情報が表示される部分(赤枠で表示)に、先ほど設定した IP アドレスが正しく表示されているか確認してください。表示されない場合には、「IP 再読み込み」ボタンを押して下さい(図6)。
- ③ 接続するパソコン同士で、入力班とチャンネルをそろえます。班やチャンネルが異なると関係入力ができません(図7)。
- ④ 関係するメンバーを選択するため、「メンバーを探す」ボタンをクリックします。同じネットワークに入っている人がいると、中央右の「班のメンバー一覧」に名前と IP アドレスが表示されます(図8)。
- ⑤ 関係入力をするパートナーとなる人の名前・IPアドレスの左側にあるパートナーに「なってよ!」ボタンを押すと、名前の枠の前に「パートナー」の表示が出て、パートナーとなります(図9)。

- ⑥ 「班のメンバー一覧」の「仲間」およびその上の「入力を LAN に流す」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認し「表示・入力」Tab をクリックして戻ります(図 10)。

- ⑦ パートナーの入力が、自分のパソコンのモニター部に表示されることを確認しましょう(図 11)。お互いの画面で確認できれば、接続完了です。念のため、表示用パソコンの表示部に入力文字が流れるか確認しましょう。

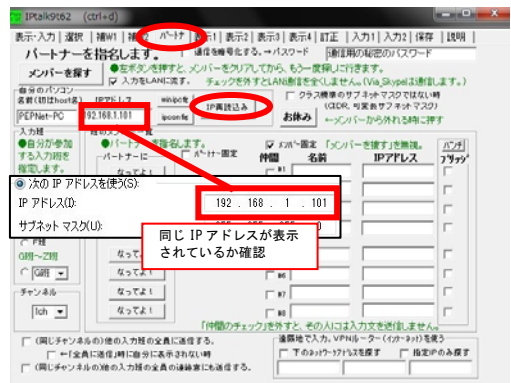


図6 IP アドレスの確認箇所

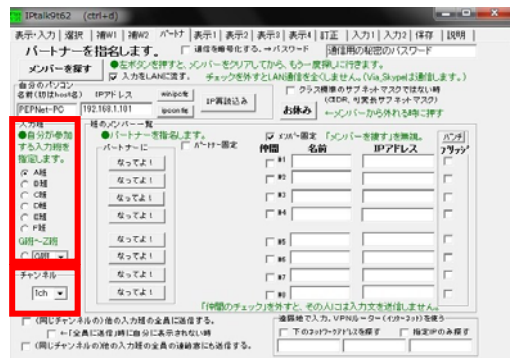


図7 入力班・チャンネルの確認メニュー

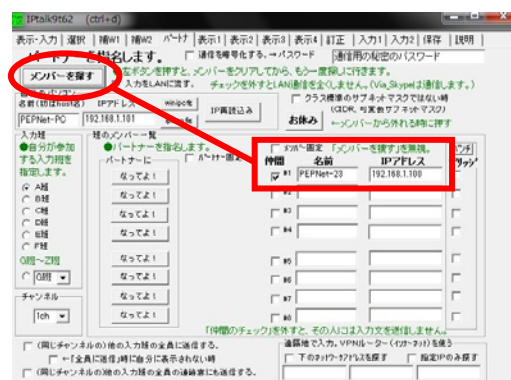


図8 メンバーを探すボタン



図9 パートナーの設定方法

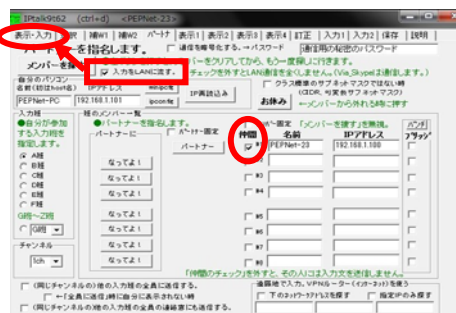


図10 仲間・入力をLANに流すのチェック箇所

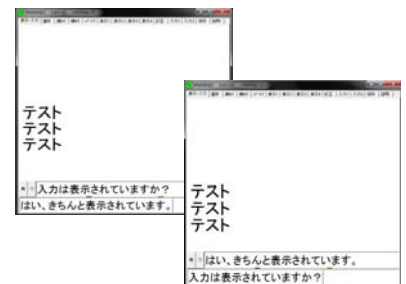


図11 お互いの入力が表示されている様子

この他「Tabの説明」「3台以上の接続方法」「トラブルシューティング」などは、冊子「パソコンノートテイク導入支援ガイド やってみよう！パソコンノートテイク」を参照して下さい。

使用上の留意点

このシステムでは、スイッチング HUB に接続したパソコン同士で通信をする環境を作っていますので、以下のようなことはできません。

- インターネットへの文字の配信
- モバイル端末への配信
- 同じローカルネットワークに入っていないパソコンとの連携入力
- 無線 LAN での配信（詳しくはリーフレット 2「聴覚障害学生も自由な席で支援を利用したい—無線 LAN ルータを使用したパソコンノートテイク—」参照）

参考情報

本リーフレットの作成にあたって使用した機材は、以下の通りです。各大学で購入する際に参考にして下さい。

品名	メーカー	型番	金額(円)	数量
連係入力用パソコン	DELL	Latitude E4200	150,000	3
スイッチング HUB(5口)	ELECOM	LAN-SW05P/PB	2,940	1
ストレートLAN ケーブル(3m)	ミヨシ	TWM-603W	850	1
ストレートLAN ケーブル(1m)	ミヨシ	TWM-601W	630	2
PC ダブ(5m)	ELECOM	T-Y055A	2,730	1

執筆者：筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 磯田恭子
筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 蓮池通子

発行 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan) <http://www.pepnet-j.org>

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター

担当：白澤麻弓 E-mail pepj-info@pepnet-j.org

PEPNet-Japan は筑波技術大学の運営による高等教育機関間ネットワークで、文部科学省特別教育研究経費により運営しています。

本シートは、PEPNet-Japan 支援技術導入事業(代表：三好茂樹)の一環として作成したものです。本シートの内容の無断複写・転載を禁じます。

